

CARREL 社会保険労務士事務所

News

CARREL 社会保険労務士事務所
〒231-0004

横浜市中区元町 3-21-2 ヘリオス関内ビル 7F
TEL :045-222-8270/FAX :045-222-8276

✉ info@carrel-yokohama.jp

http://www.carrel-yokohama.jp



1. 「社員の世代間ギャップ」をどう埋める？

◆世代間コミュニケーション調査

独立行政法人労働政策研究・研修機構では、今年1月に「世代間コミュニケーション」についての企業調査を行い、先頃その結果が発表されました。

対象を3世代に分類し、それぞれ世代の入社時点での印象を企業に尋ねたところ、キャリア意識などの面で違いが見られました。

◆世代間ギャップの要因は？

バブル期までに採用された世代は、企業から、「組織が求める役割を果たそうとする意識が強い」「失敗や困難があってもやり遂げようとする意識が強い」などと見られているようです。

逆に、1990～2000年代に採用された世代では、それらの印象が弱くなり、「自分の取り組みたい仕事へのこだわりが強い」「失敗したり困難な仕事に直面したりすると自信を失う」などと見られています。

入社時の資質がそのまま残るとは限りませんが、上の世代は自分が若かった時と比べがちであり、それが世代間ギャップの一因ともなっているようです。

◆働く目的は何か？

高度経済成長で豊かになった時代に生まれ育った団塊ジュニア世代以降は、「食べるために働く」意識が希薄だと言われます。働く目的は「自分の能力や個性を生かすため」であり、「給料をもらうために辛抱しろ」といった考えは通用しません。

しかし、下の世代からみれば、会社への依存体質が強くありがちな今の40代に対して不満があるようです。

◆部下・後輩に歩み寄ることも必要

若手社員は「自己成長」には強い関心があるため、先輩・上司はその特質を知り、どのように接すれば良いパフォーマンスを引き出せるかを考える必要があるようです。

職場環境は常に変化し、不景気で人員も少ない中で効率を上げることが求められており、コミュニケーションに割ける時間は確実に減少しています。管理職には、自分から部下・後輩に歩み寄り、彼らに合わせる役割も求められています。

任せていただく信頼に

しっかりお応えするのが

CARREL の“使命”です。

CARREL の6つの使命として

- ◇ 就業規則
- ◇ 人事諸規定
- ◇ 労務問題
- ◇ 採用・教育研修
- ◇ 行政調査
- ◇ 各種助成金

を考えています。

これらのお悩みを解決させて頂くことが、貴社の成長に貢献できる近道だと思っております。

～お気軽にご相談下さい～

プロフィール

官公庁・百貨店勤務を経て人材派遣会社へ入社。
人材派遣会社では約10年間、総務・人事、派遣コーディネーターなど多岐に渡る業務に従事。現在は、社労士実務だけでなく、資格学校や大学にてメンタルヘルスや再就職支援等の講師を担当。



1月の税務と労務の手続き

10日

- ◇ 源泉徴収税額・住民税特別徴収税額の納付
[郵便局または銀行]
- ◇ 雇用保険被保険者資格取得届の提出<前月以降に採用した労働者がいる場合>
[公共職業安定所]
- ◇ 労働保険一括有期事業開始届の提出<前月以降に一括有期事業を開始している場合>
[労働基準監督署]

20日

- ◇ 特例による源泉徴収税額の納付<前年7月~12月分>
[郵便局または銀行]

31日

- ◇ 法定調書<源泉徴収票・報酬等支払調書・配当剰余金調書・同合計表>の提出 [税務署]
- ◇ 給与支払報告書の提出<1月1日現在のもの> [市区町村]
- ◇ 固定資産税の償却資産に関する申告 [市区町村]
- ◇ 個人の道府県民税・市町村民税の納付<第4期分>
[郵便局または銀行]
- ◇ 労働者死傷病報告の提出<休業4日未満、10月~12月分>
[労働基準監督署]
- ◇ 健保・厚生年金保険料の納付
[郵便局または銀行]
- ◇ 日雇健保印紙保険料受払報告書の提出 [年金事務所]
- ◇ 労働保険印紙保険料納付・納付計器使用状況報告書の提出
[公共職業安定所]

本年最初の給料の支払を受ける日の前日まで

- ◇ 給与所得者の扶養控除等申告書の提出 [給与の支払者]
- ◇ 本年分所得税源泉徴収簿の書換え [給与の支払者]

2. 会社員の転職意識はどうなっている？

◆意識調査の結果から

株式会社日経HR（日本経済新聞社の子会社）では、10月に「転職意識」に関するアンケート調査（1,442人が回答）を実施し、先日、その結果が発表されました。

転職したい理由、転職で重視することなどが明らかになっており、企業にとっても興味深い結果となっています。

◆転職を考えた理由

まず、「なぜ転職したいと思ったのですか？」との質問に対しての回答では、「年収を上げたい」（39%）がトップとなりました。

別の調査（株式会社インテリジェンス）によれば、転職希望者の年収は、前年比で5万円減（平均449万円）となったとのデータもあります。減少は4年連続とのことです。

なお、以下、「会社の先行きが厳しく不安なため」（37%）、「会社の体質が自分に合わない」（32%）、「上司、同僚など人間関係の問題」（14%）、「職種を変えたい」（13%）、「業種を変えたい」（12%）が続いています。

◆転職時の最優先項目

「転職先を選ぶ際の最優先項目はどれですか？」との質問に対しては、「仕事内容」（55%）がダントツの1位となり、以下、「年収」（13%）、「勤務地」（9%）、「自身の成長」（7%）と続いています。

◆転職時の不安・転職時に知りたいこと

「転職するにあたり、不安なこと・知りたいことはありますか？」との質問に対しては、「自分の年齢に合った求人があるか」（66%）、「自分の経験が活かせる求人があるか」（63%）との回答が多く寄せられました。

以下では、「自分の経験が一般と比較して十分なものか」（33%）、「自分の年齢に合った年収がいくらか」（33%）、「キャリアアップが可能か」（29%）が続いています。

1月の花歳時記

【七草】1月7日に食べる七草粥は災いを避け、長寿や富を得られるという言い伝えがあります。また、お正月にたくさんのご馳走で疲れた胃を休める意味もあるでしょう。春の七草は食べることを主としますが、秋の七草は観賞して楽しめます。



【鏡開き】1月11日は鏡開き。その年一年の一家円満を願って、正月に飾った鏡餅を御汁粉などにしていただきます。この鏡開きは金づちや木づちで割り、包丁で餅を切ってはいけません。刃物を使ってはいけないその言われはいつかありますが、鏡餅の中には神様が宿っているからと思えば、最後まで大切に頂く気持ちにもなれますね。

